

# Ⅲ 令和2年度の実践

## 1 令和2年度プレ大会授業記録・研究会記録

(第1・4・5学年)

## 2 共同製作

## 3 令和2年度の成果・課題及び令和3年度の研究主題と仮説



## 第1学年 図画工作科学習指導案

1年	22名
指導者	尾崎 友香 株田沙耶香
授業場	1年教室

### 1 題材名 いろいろならべて〈A表現（1）造形遊び・B鑑賞〉

### 2 題材設定の理由

本題材は、ペットボトルキャップの形や色から並べ方を思い付き、いろいろ試す中で好きな並べ方を見付ける活動である。児童にとって、ペットボトルキャップは、普段何気なく見たり触れたりしている身近な材料である。いろいろな色のたくさんのペットボトルキャップを用意し、並べ方や積み方を試行錯誤したり友達や友達の作品と関わったりする中で、自分の好きな並べ方を見付けることをねらいとしている。

本学級の児童は、素直で明るく、学校での様々な活動に意欲的に取り組んでいる。絵をかいたり、工作をしたりすることが好きな児童も多く、図画工作科の時間を楽しみにしている。7月に行った「ひかりのくにのなかまたち」では、材料の色セロハンに興味をもち、細かく切ってまぜたり、色を重ねて新しい色をつくったり工夫しながら、一人一人が手や体全体を働かせ、動物やおぼけなど自分だけのなかまたちをつくる活動を楽しんでいた。また、生活科の「水で遊ぼう」では、水鉄砲や船、動物型のシャワーなど、水遊びのおもちゃを考え、材料を集めておもちゃ作りを行った。水遊びに適した材料を自分たちで考え、形を工夫しながらそれぞれが思い付くままに表現し、意欲的に取り組んでいた。しかし、活動を積極的に楽しみ、すぐに取りかかる児童がいる一方で、自分の作りたい物がわからなかったり、自信がなく活動に躊躇したりしてしまう児童もいた。そこで、友達と共感したり、材料からイメージを膨らませ、自分らしい表現や活動の面白さに気付いたりすることによって、造形活動の楽しさを味わってほしいと考え、本時を設定した。

指導に当たっては、児童が思いのままに並べたり積んだり、思い付くままに活動できるように、十分な材料と活動場所を設定する。また、個人での活動が中心になりやすいため、活動の途中に相互鑑賞の時間を設けることにより、友達の並べ方にも関心をもって、よいと感じたものは自分の活動に取り入れるなど、豊かに発想を広げられるようにしていきたい。また、活動が進まない児童には、友達の並べ方や積み方を見せたり教師と一緒に並べたり積んだりして、自分の思いが表現できるようにしたいと考える。

### 3 題材の目標

- (1) ・いろいろな色のペットボトルキャップを並べる活動を通して生まれる、形や色の組み合わせ方、並べ方の面白さに気付く。
  - ・形や色に着目し、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫する。 (知識及び技能)
- (2) ・材料の形や色、大きさなどの特徴をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考える。
  - ・自分や友達の表し方について造形的な面白さを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) ペットボトルキャップの形や色に関心をもち、並べ方を試しながら、楽しく取り組もうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

#### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんのペットボトルキャップを並べる活動を通して生まれる、形や色の組み合わせ方、並べ方の面白さなどに気付いている。</li> <li>・ 形や色に着目して材料を並べるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットボトルキャップの形や色などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えている。</li> <li>・ 自分や友達の表し方について造形的な面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</li> </ul>	<p>ペットボトルキャップの形や色に関心をもち、ペットボトルキャップの並べ方をいろいろ試しながら、楽しく取り組もうとしている。</p>

#### 5 指導と評価の計画（全2時間 本時2/2）

時間	ねらい・学習活動	評価の観点	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットボトルキャップを並べたり、積んだりする活動を楽しむ。</li> </ul>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 知 ○</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 思 ◎</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 態 ○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットボトルキャップを並べる活動を通して生まれる、形や色に着目している様子を観察する。 (観察, 作品)</li> <li>・ 材料の形や色, 大きさなどの特徴を基に造形的な活動を思い付き, どのように活動しているかを観察したり, 問いかけたりして把握し, 記録に残す。 (観察, 作品, 対話)</li> <li>・ ペットボトルキャップの形や色に関心をもち, 楽しく取り組もうとしている様子を観察し, 指導に生かす。 (観察, 対話)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットボトルキャップの並べ方や積み方を工夫して表す。</li> <li>・ 本時の活動を振り返る。</li> </ul>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 技 ○</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 思 ◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形や色に着目してペットボトルキャップを工夫して並べている様子を観察し, 指導に生かす。 (観察, 対話, 作品)</li> <li>・ 友達の作品から造形的な面白さを感じ取り, 並べ方をいろいろ工夫したり, 好きな並べ方を見つけたりしている様子を活動全体を通して観察し, 把握して記録を残す。 (観察, 作品)</li> </ul>

○題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

## 6 本時

### (1) 目標

ペットボトルキャップを工夫して並べたり積んだりする中で好きな並べ方を見付けるとともに、友達や自分がつくった形や色の面白さを感じることができる。

### (2) 展開

学習活動	指導上の留意事項	学習活動における具体的評価規準	評価方法
1 本時の学習への意欲をもち、めあてを確認する。	今までにつくったそれぞれの活動の成果を見ながら、前時の学習を振り返り、本時の活動のめあてをもたせる。		
<p>もっと ならべて つんで たのしもう。</p>			
2 新しい材料を加えて、ペットボトルキャップをいろいろ並べたり積んだりする。	活動がさらに広がるように、透明のカップを加える。ペットボトルキャップは色ごとにまとめて並べ、児童が選択しやすいようにしておく。 並べ方や積み方など、工夫された表現を互いに紹介しあい、参考にできるようにする。	ペットボトルキャップを並べる活動を通して生まれる、形や色の組み合わせ方、並べ方の面白さに着目して、手や体全体の感覚を働かせ、並べ方をいろいろ工夫し、好きな並べ方を見付けている。 <b>【技能】</b>	観察 対話 発言 作品
3 本時の活動を振り返る。	互いの表現を楽しみ、形や色の工夫や面白さを感じることができるようにする。	自分や友達がつくった形や色の組み合わせの面白さを感じている。 <b>【思考・判断・表現(鑑賞)】</b>	観察 発言

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断できる状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな色のペットボトルキャップを効果的に使って、長く並べたり高く積んだり工夫しながら、楽しんで表現している。</li> <li>自分や友達がつくった形や色の面白さを感じ、友達にも伝えようとしている。</li> </ul>
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の並べ方や積み方を見せたり、教師と一緒に活動したりして自分の思いが表現できるようにする。</li> <li>友達の発言を聞いたり、いろいろな場所から見せたりして、面白さを感じることができるようにする。</li> </ul>

小松島市児安小学校 尾崎 友香

小松島市児安小学校 株田 沙耶香

題材名 いろいろ ならべて<A表現(1)造形遊び・B鑑賞>

目標 ペットボトルキャップを工夫して並べたり積んだりする中で好きな並べ方を見付けるとともに、友達や自分がつくった形や色の面白さを感じることができる。

展開 (本時 2/2)

教師のはたらきかけ	児童の反応
<p>1 3時間目は何をつかいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャップで何をつくりましたか。</li> <li>○ 写真をとったので見てください。 (①～⑥の写真を貼る。)</li> <li>○ どうしているか見てね。</li> <li>○ (写真①を見せながら) まっすぐ長くならべていますね。</li> <li>○ (写真②を見せながら) 同じ色でどんどんならべて子もいましたね。</li> <li>○ (写真③を見せながら) にじ色。いろいろな色をつかってカラフルなにじ色にならべたね。</li> <li>○ (写真④を見せながら) これはどうかな。</li> <li>○ ゆるくカーブして曲がっています。</li> <li>○ (写真⑤を見せながら) この子はどう。</li> <li>○ いろいろな色をならべて、何の下にあるのかわかる。</li> <li>○ よく見ると机の下をくぐっている人もいました。</li> <li>○ (写真⑥を見せながら) 重ねる。どんどん高く積んでいきました。</li> <li>○ 今日は、一つお助け兵器をたします。これ、透明カップをかしてあげます。</li> <li>○ このカップがあつたら、どんなことが</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャップ</li> <li>○ ならべた。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全種類つかってる。</li> <li>○ にじ色。</li> <li>○ 曲がってる。</li> <li>○ カラフル。</li> <li>○ 机。</li> <li>○ 重ねとる。</li> <li>○ 山ができる。</li> <li>○ でこぼこにできる。</li> </ul>

教師のはたらきかけ

児童の反応

できる。

○ どうしてもお助けがほしいときのお助けマンとして置いておきます。大事なときにつかってね。

○ 新しい材料が入ったのでめあてが少しかわります。

○ もっとならべてもっとつんで楽しもう。

○ お約束ごとに気をつけてやってください。

2 ろうかにも出てもいいし、ベランダに出てもいいですよ。

○ 自分のかごをもって始めてください。  
(タブレットで写真を撮りながら、各グループをまわる。)

○ どの辺までつもうとしているの。

○ がんばれ。がんばれ。

○ ほんとだつながった。

○ 同じ幅のものをさがしたん。

○ 緑ばかり集めてつむの。

○ 黄色信号つけるよ。

○ もうすぐで赤つけるよ。

○ ゆっくり帰ってきて。ゆっくり前を見て座ってね。

3 今から 1 分間そーと歩いてまわりをぐるぐる見て回ってください。

○ 後で感想を言ってもらいます。

○ どうでしたか。

もっとならべて つんで たのしもう

(活動開始)

○ ベランダに行こう。

○ 友だちとつなげてベランダへ行こうか。

○ いろんな色をとってこよう。

○ 最後まで。

○ 先生つないだ。

○ 先生、〇〇くんにつながった。

○ うん。すごく難しかったよ。

○ 富士山できたよ。

○ うん。

○ みんな黄色になったよ。

○ あと5分になった。はやくしな。

○ あとちょっとでできそうだったのに。



○ 山とか虹がすごいと思いました。

○ △△ちゃんのまわりにならべていたのがすごいと思いました。

○ 一生懸命体をつくっているのがたいへんだと思いました。

○ みんなでつなげて最後に迷路になったのがすごいと思います。

教師のはたらきかけ	児童の反応
<p>○ 立ててならべてました。すごいね。</p> <p>○ なんで反対向きにしたの。</p> <p>○ キャップをいっぱいならべて教室はどうになりましたか。</p> <p>○ どんどんならべて、体全部を使ってならべたりつんだりするお勉強ができました。これからも体を使った図工のお勉強をしていきましょうね。よく頑張りました。</p>	<p>○ □□くんがキャップを立ててならべていたのがすごいと思いました。</p> <p>○ 鬼滅を作っていたのがすごいと思いました。</p> <p>○ 色がきれいだから。</p> <p>○ きれいになった。</p> <p>○ キャップだらけになった。</p>



\*板書

いろいろならべて

もっと つんで

まとめ ならべて たのしもう。

いちどにとるのは ひとすくいまで

はしらない

けらない

なげない

なかよく

写真①

写真②

写真③

おなじいろ

まっすぐ ながく カラフル

写真④

写真⑤

写真⑥

くぐる かさねる つむ

まがる



## 1 問題点

- (1) 造形遊び中における効果的な声かけ・発問について
- (2) よい作品の見つけ方について
- (3) 造形遊びにおける場の設定について
- (4) 材料の収集, 材料の生かし方について
- (5) 造形遊びに主体的に取り組むための支援について

## 2 解決の一方策

〈問題点(1)について〉

- (1) 子どもたちの活動をもっと引き出せるような言葉を意識して, 声をかければよいのではないか。子どもの作品に対しては, 「どうしてそうしたのか。」などと聞いてみるのもよい。
- (2) 子ども同士が作品を通じて対話できていた。振り返りの時に, 作品を撮った写真を見ながらみんなで共有したり, 互いのよいところを発表し合ったりする時間があってよかった。
- (3) 授業者は, 活動中, 子どもたちの作品の面白いところを見つけては, 声をかけて称賛していてよかった。活動にこだわりをもつ子どもたちにしっかり気付いて, 評価できていた。

〈問題点(2)について〉

- (1) 自分の言葉で思いを伝える様子や友達の思いを見取ってよりよい使い方ができる子にキャップを渡す様子などが見られた。造形言語である形と色で会話ができおり, 心が交流していた場面がたくさん見られた。そういう児童の作品やこだわりを取り上げていて見事であった。
- (2) キャップを裏返して使うと, 模様がついてないため色がきれいで光沢が出ることに気づき, それを作品に生かしていた子どもたちの発想の豊かさに感心した。教師がその子に, どうして裏返したのかと問うことで, 良い意味でのこだわりに気付くことができ, それが周囲にも伝わった。自分の作品にこだわっている子をきちんと取り上げ, よく見取っていると思った。

〈問題点(3)について〉

- (1) 教室だけでなく, 廊下やベランダを自由に使えたので, 活動がとてもダイナミックになってよかった。教室でしたからこそ, 机という限定された場で絵をかくことや作品で教室を取り囲むということができていた。学校生活の中で, 活動を思い出しやすいのではないかと思った。

- (2) 活動の1時間目は、椅子を出し、机は置いて自分の席から活動を始めた。机がいらなくなったら教師が出すことにし、廊下とベランダは制限をかけて教室から出ないように言っていた。
- (3) 授業者は、体育館は広く、周りを多くの人に囲まれるとのびのびできないのではないかと考えた。また、一人の活動にこだわりたい子のために机を残していた。子どもの思いを汲み取り普段使っている教室に決めたことが、のびのびと発想豊かな子どもたちの活動につながった。

〈問題点（4）について〉

- (1) 昨年度も同学年でペットボトルキャップを使った造形遊びをしていたため、ある程度の材料は確保できていた。追加で集めたが、教職員だけで収集し、地域への協力は呼びかけていない。
- (2) 他の材料として透明カップを追加したが、活動に飽きたときや、“お助けマン”として活用することが目的であり、ペットボトルキャップをメインの材料としたいという授業者の意図があった。導入時、「工夫して、大事に使ってね。」という説明をしていたのはとてもよかった。

〈問題点（5）について〉

- (1) 教師がはじめに並べ方を写真で示したことが、子どもの活動の中に生かされていた。
- (2) ものを作っては駄目だとは言っていないので、どの作品も褒めた。漢字を作った子に対して、リクエストされたことに答えるなどして活動を止めることはしなかった。
- (3) まとまった数のペットボトルキャップを渡してあげると、どう使うか考え、それが取りかかりのきっかけになったのではないかと思った。写真や動画で撮ったものを活動中に表示していたが、それに目が向くような声かけをすると気持ちが活動に向くこともあっただろう。

### 3 今後の課題

- (1) 写真や動画など多くの記録を取っていたが、どのように生かしていくのか。いつでも見ることができるように掲示したり、できた作品を他学年に見せたりするのもよいのではないか。
- (2) 教師が言葉がけをすることで子どもたちは自信をもって活動できる。「すごいね。」の一言で見てもらえている、頑張ろうという気持ちになる。色遣いや工夫している所など子どものよさを見取って褒めてあげると、他の子どもの耳にも入り、新しい活動の展開が見られるだろう。
- (3) 計算し考えて場の設定をすること、子どもたちの思いを汲み取り大切にすることが生き生きとした活動につながっていく。活動が停滞した時には、新しい材料を導入すると、やってみようという発想がわくのではないか。図工では、自分の好きな色、形、並べ方を見つけた子、自分らしさを表せた作品が評価される。